

## (仮称) 郡山市子どもに関する条例

## 子どもに意見を聴くアンケート調査結果報告書

## &lt;調査概要&gt;

## 1 調査目的

各設問について、子どもたちが現在どのような認識を持っているかを把握するため。

また、子どもが通う各施設における子どもに関する課題等に対する考え方も併せて把握することで、「(仮称) 郡山市子どもに関する条例」の制定資料とするため。

## 2 調査対象

## (1) 児童・生徒

ア 東、西、南、北、中央地区に属する小学校のうち、任意に選択した各2校(計10校)に在学する小学5年生

イ 東、西、南、北、中央地区に属する中学校のうち、任意に選択した各1校(計5校)に在学する中学2年生

ウ 市内にある高等学校のうち、任意に選択した5校に在学する高校2年生

## (2) 施設

ア 市内に開設されている公立保育所、民間認可保育施設、私立幼稚園及び認可外保育施設

イ 上記児童・生徒向けアンケートの対象となった小学校、中学校及び高等学校

## 3 調査期間

平成29年2月6日～15日

## 4 実施方法

無記名アンケート方式により、市が各学校を通じてアンケート用紙を配布・回収し、集計した。

## 5 回収結果等

## (1) 児童・生徒

対象者数：3,038人

(小学生:706人、中学生:779人、高校生:1,553人)

回答者数：2,975人(うち有効回答数：2,960人)

(小学生:697人(696人)、中学生:750人(748人)、高校生:1,528人(1,516人))

有効回答率：97.4%

(小学生：98.6%、中学生：96.0%、高校生：97.6%)

## (2) 施設

対象施設数：158施設

(公立:25施設、民間認可:29施設、幼稚園:33施設、認可外:51施設)

(小学校:10施設、中学校:5施設、高校:5施設)

回答施設数：104施設(うち有効回答数：104施設)

(公立:25施設、民間認可:22施設、幼稚園:18施設、認可外:21施設)

(小学校:9施設、中学校:5施設、高校:4施設)

有効回答率：65.8%

(公立:100.0%、民間認可:75.9%、幼稚園:54.5%、認可外:41.2%)

(小学校:90.0%、中学校:100%、高校:80.0%)

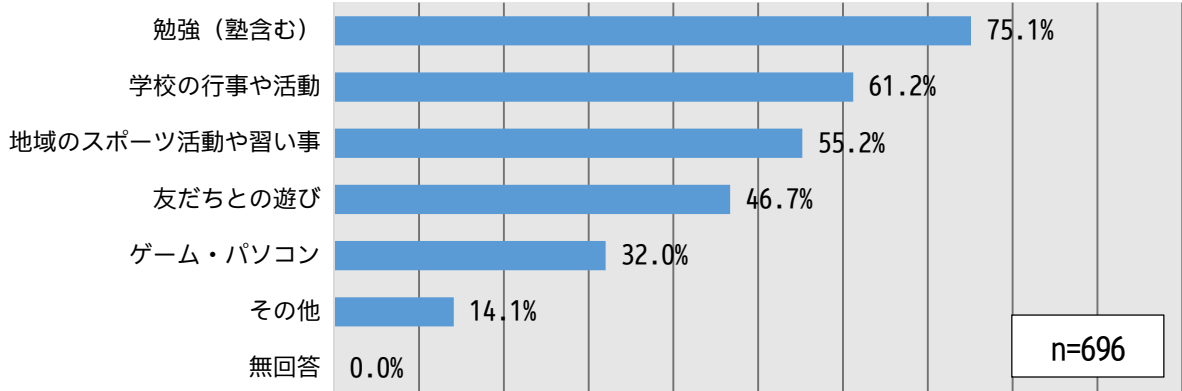
## <調査結果>

### ～児童・生徒への質問・回答～

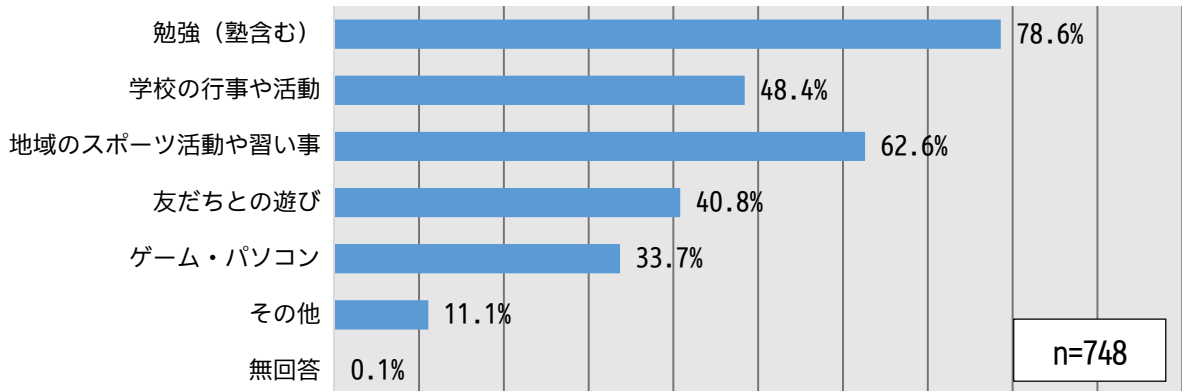
#### 1 自分について

小学生、中学生、高校生とも、「勉強」に力を入れている割合が高く、中学生や高校生になると部活動が始まることから、「スポーツ活動や習い事」に力を入れている割合が高くなっています。

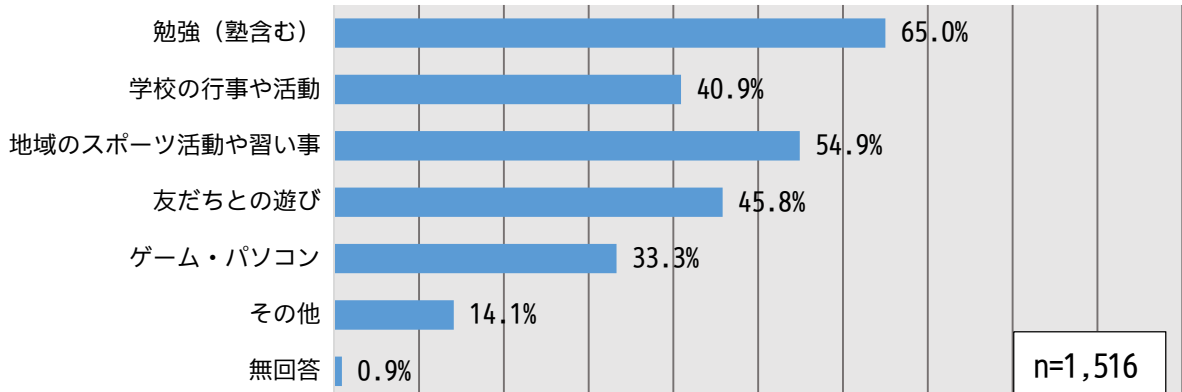
○今、力をいれていることはなんですか？（複数回答可）【小学生】



○今、力をいれていることはなんですか？（複数回答可）【中学生】



○今、力をいれていることはなんですか？（複数回答可）【高校生】

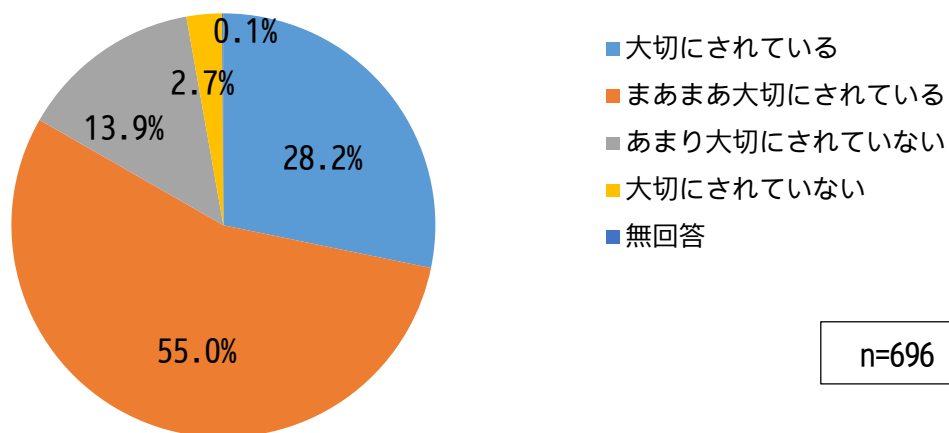


【その他の意見（抜粋）】

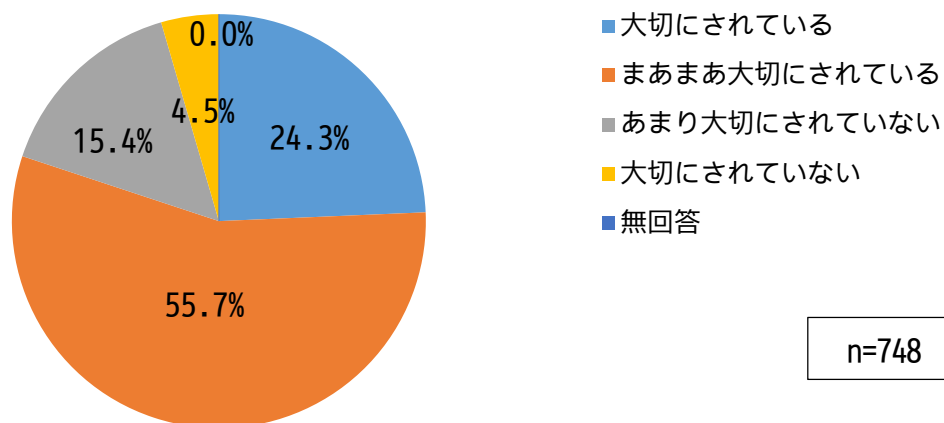
家の手伝い
学校での音楽関係（合奏、合唱、鼓笛等）
趣味（読書、絵を描く、楽器演奏等）
動画サイトの閲覧
アルバイト

小学生、中学生、高校生ともに、自分の意見を「大切にされている」、「まあまあ大切にされている」と回答した割合が8割以上となっており、比較的大切にされていると感じているようです。

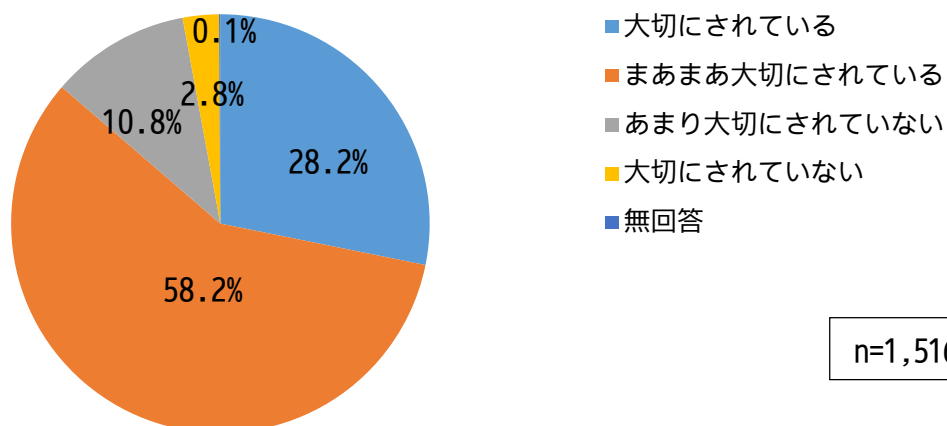
○あなたの意見は大切にされていると感じますか？【小学生】



○あなたの意見は大切にされていると感じますか？【中学生】

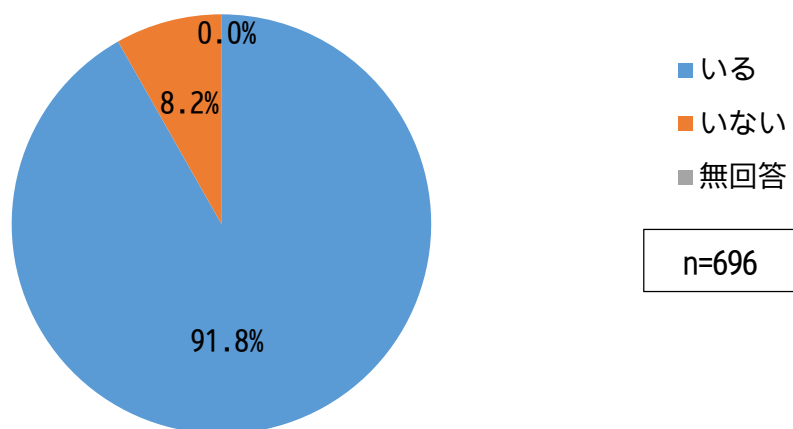


○あなたの意見は大切にされていると感じますか？【高校生】

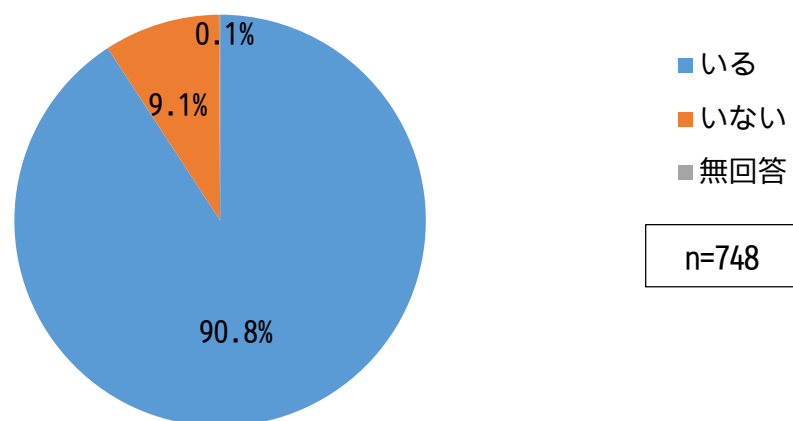


小学生、中学生、高校生ともに、9割以上が「相談にのってくれる人がある」と回答しており、どの世代でも、困ったときに悩みを話せる人が近くにいるようです。

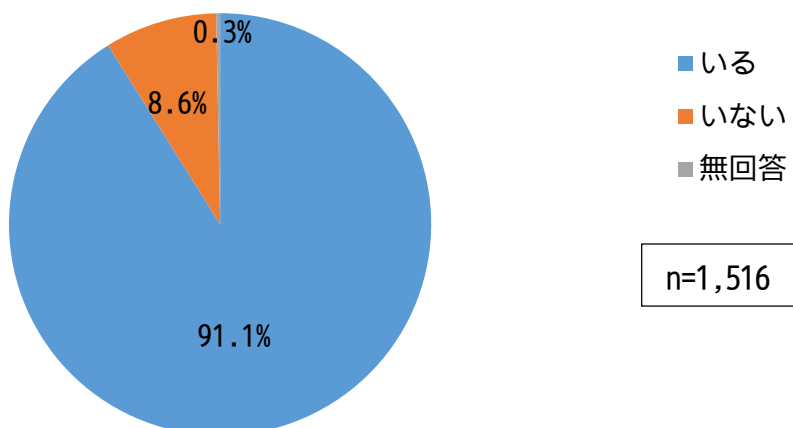
○あなたが困った時に、相談にのってくれる人はいますか？【小学生】



○あなたが困った時に、相談にのってくれる人はいますか？【中学生】



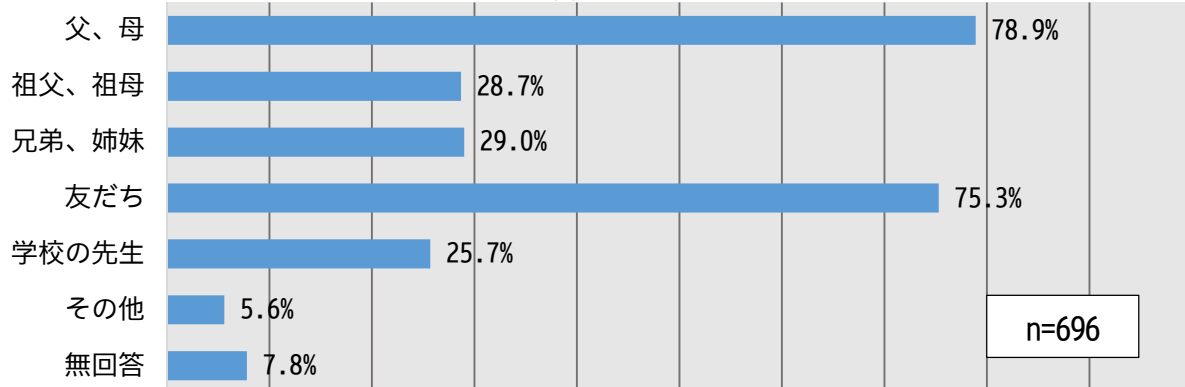
○あなたが困った時に、相談にのってくれる人はいますか？【高校生】



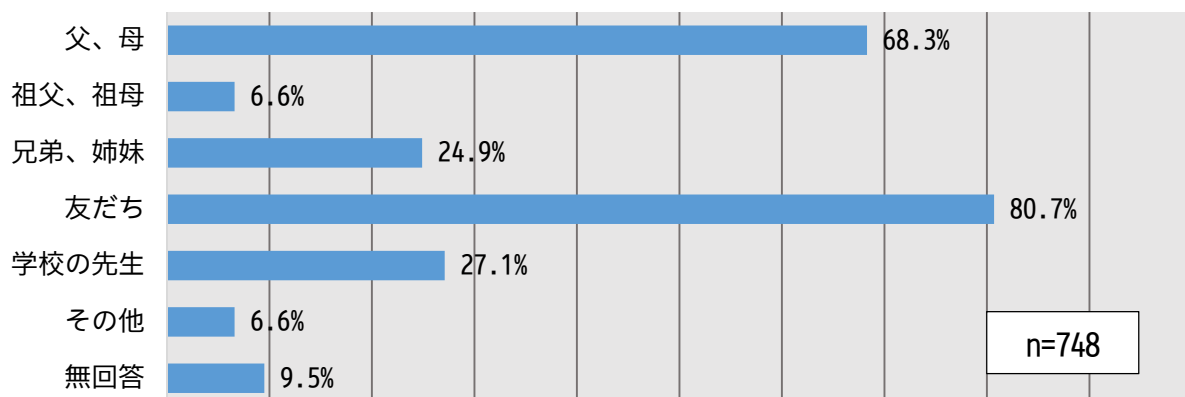
小学生では、相談相手が「家族」の割合が高く、中学生、高校生になるにつれて、徐々に減少しておりますが、相談相手が「友だち」の割合は大きく変動しないことから、年代が上がると家族よりも友だちが身近な相談者になっていることが読み取れます。

また、その他の相談者としては、学校の先輩・後輩、塾の先生、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとの回答も多くありました。

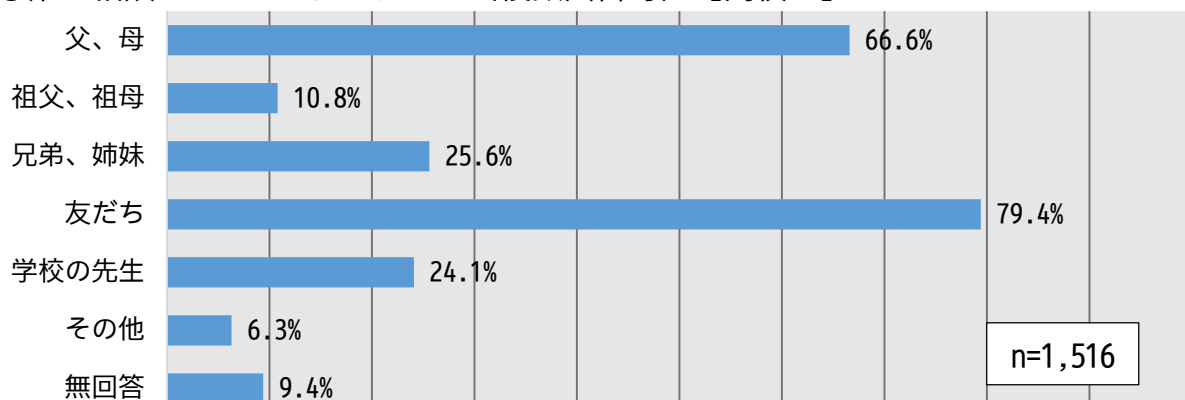
○誰が相談にのってくれますか？（複数回答可）【小学生】



○誰が相談にのってくれますか？（複数回答可）【中学生】



○誰が相談にのってくれますか？（複数回答可）【高校生】



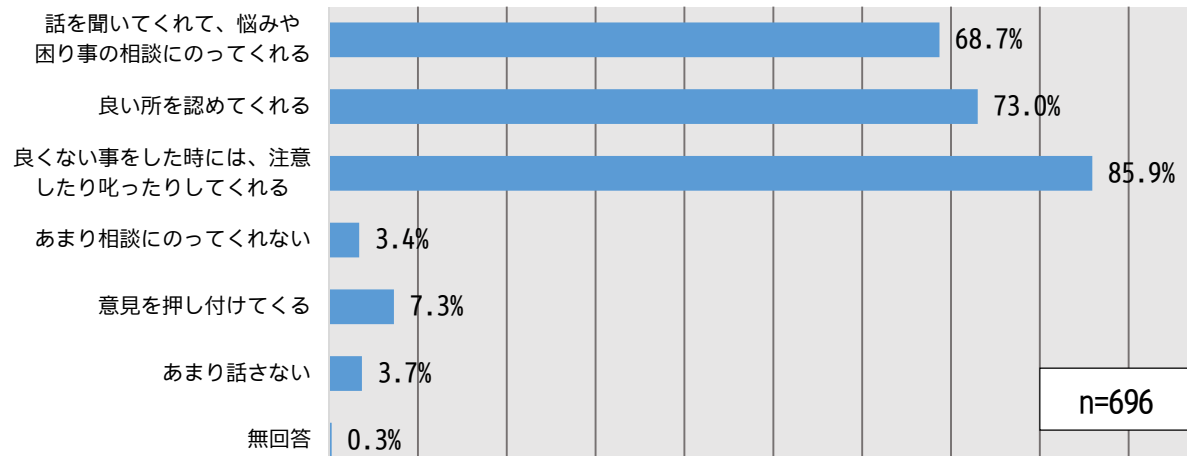
【その他の意見（抜粋）】

学校の先輩、後輩
塾の先生
親戚（いとこ、おじ、おば）
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
ツイッターのフォロワー

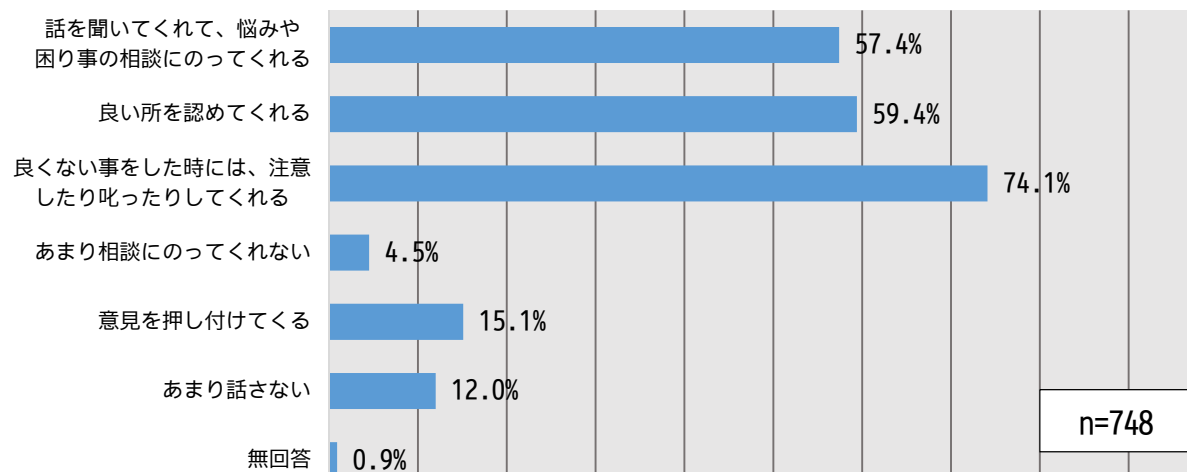
## 2 まわりの大人について

小学生、中学生、高校生とも、家族については、比較的良好印象を持っていますが、中学生、高校生で「意見を押し付けてくる」と回答している割合が10%以上います。

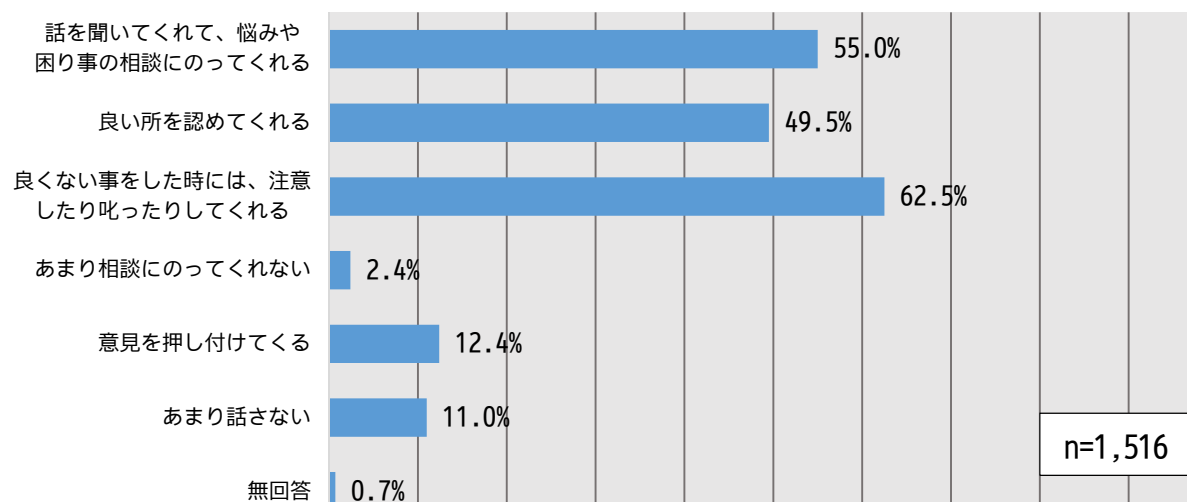
### ○家族についてどのように感じていますか？（複数回答可）【小学生】



### ○家族についてどのように感じていますか？（複数回答可）【中学生】

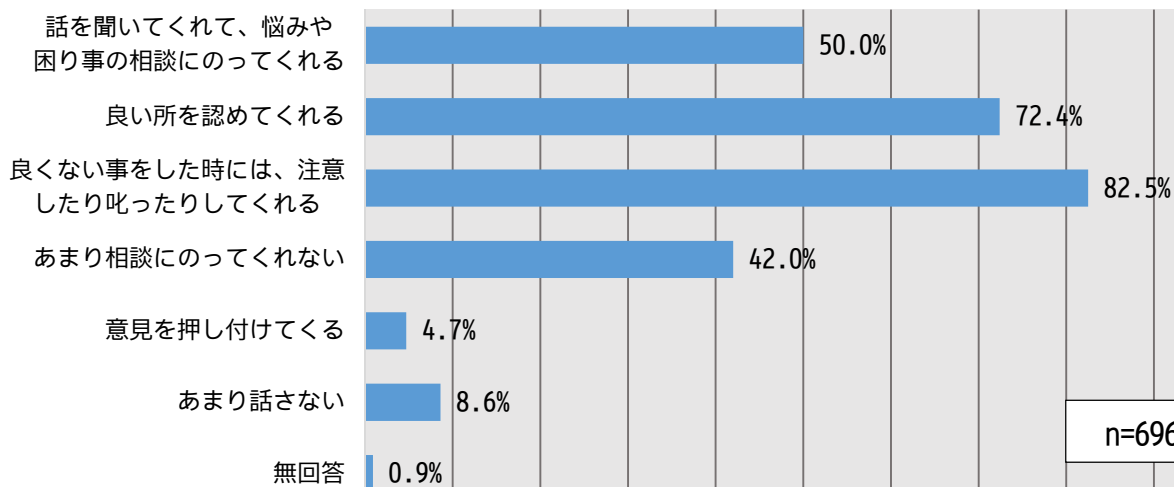


### ○家族についてどのように感じていますか？（複数回答可）【高校生】

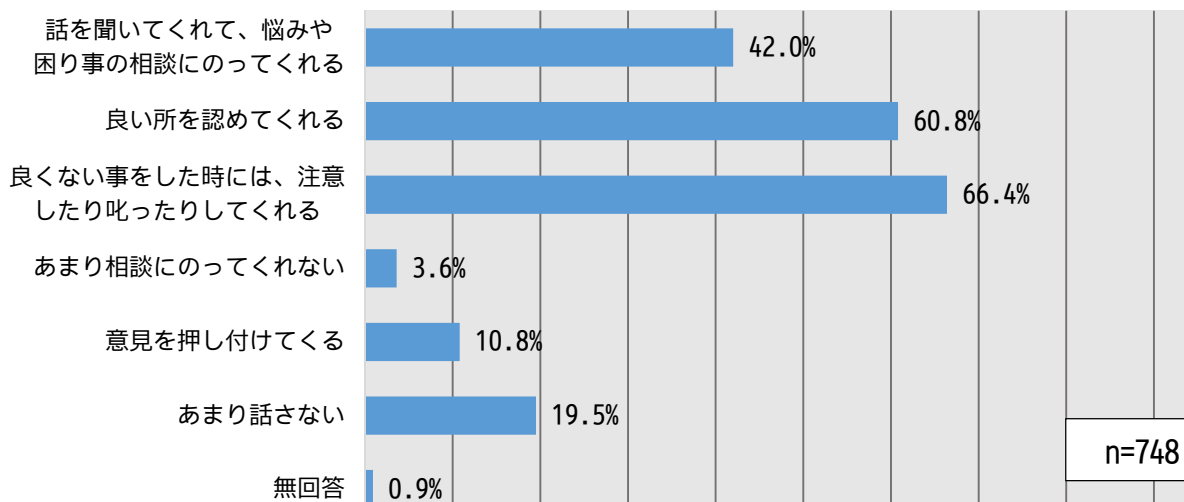


小学生、中学生、高校生とも、学校の先生についても比較的良好な印象を持っていますが、年代が上がるにつれて「あまり話さない」と回答している割合が高くなっています。

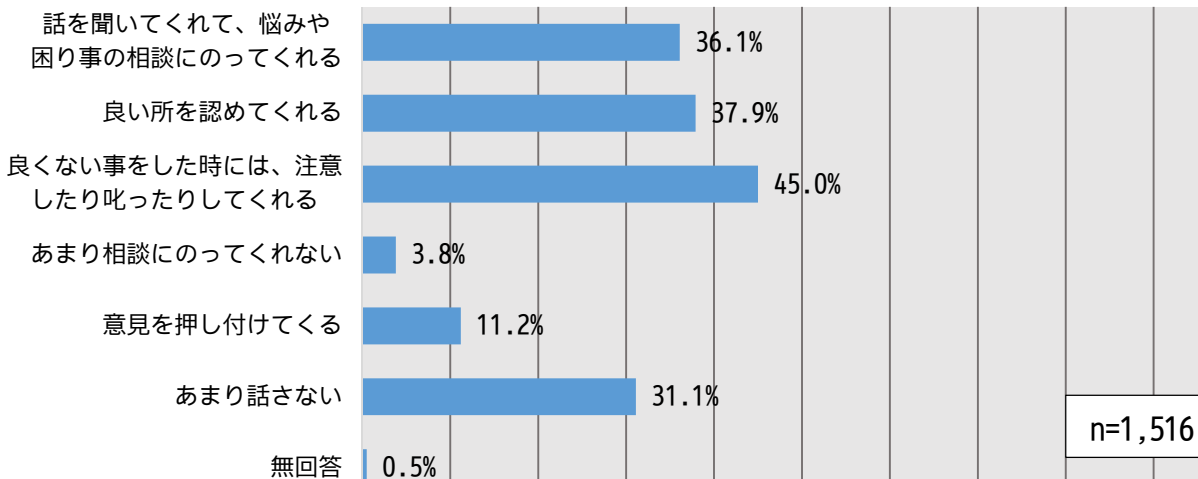
○学校の先生についてどのように感じていますか？（複数回答可）【小学生】



○学校の先生についてどのように感じていますか？（複数回答可）【中学生】

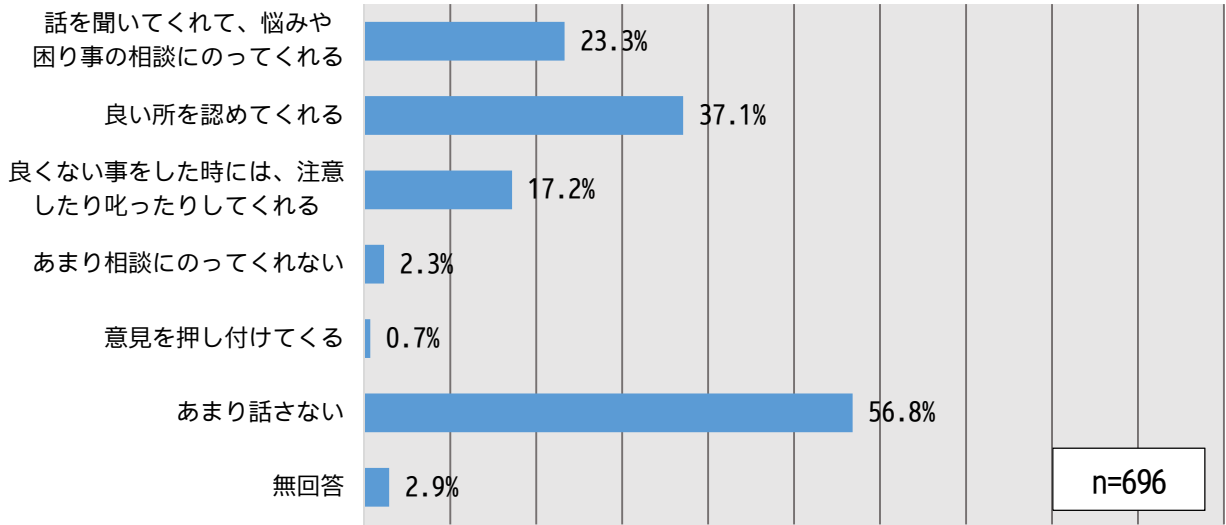


○学校の先生についてどのように感じていますか？（複数回答可）【高校生】

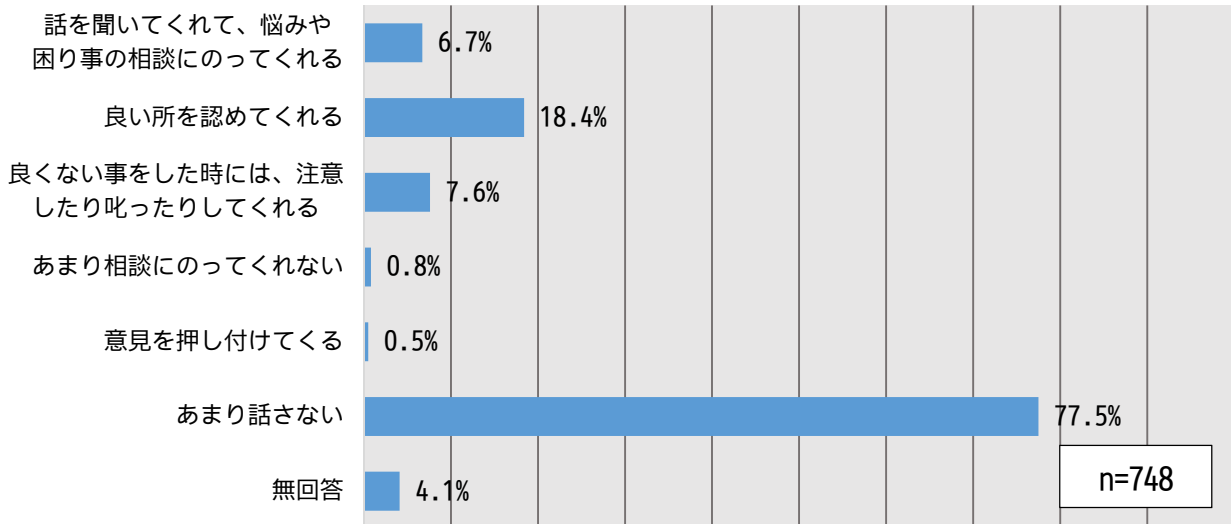


小学生、中学生、高校生とも、「あまり話さない」と回答している割合が、他の意見よりもかなり高く、近所の人、地域住民との関係の希薄さが読み取れます。

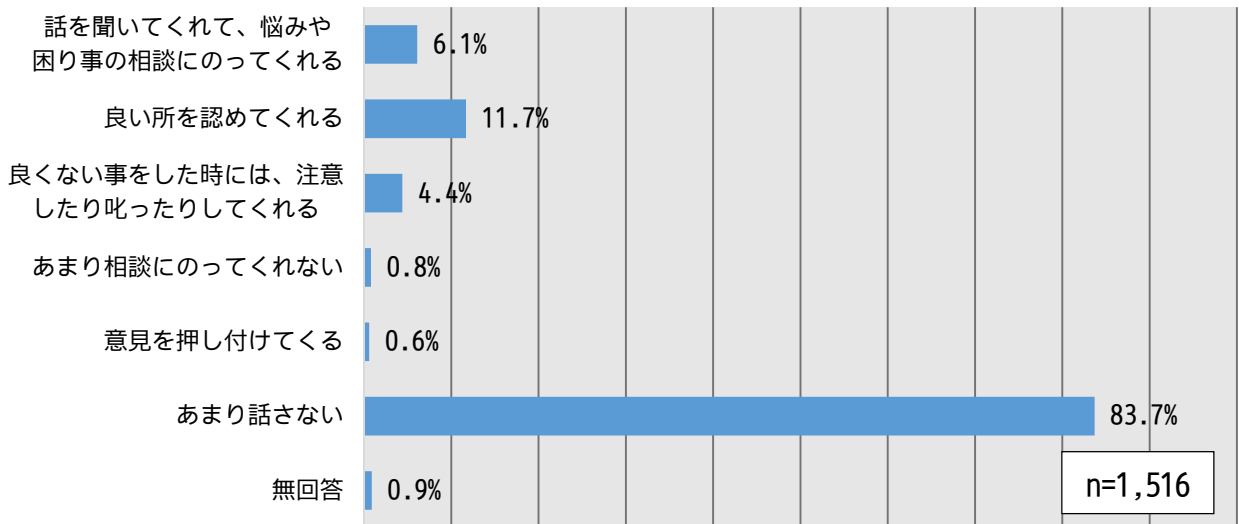
○近所の人についてどのように感じていますか？（複数回答可）【小学生】



○近所の人についてどのように感じていますか？（複数回答可）【中学生】



○近所の人についてどのように感じていますか？（複数回答可）【高校生】



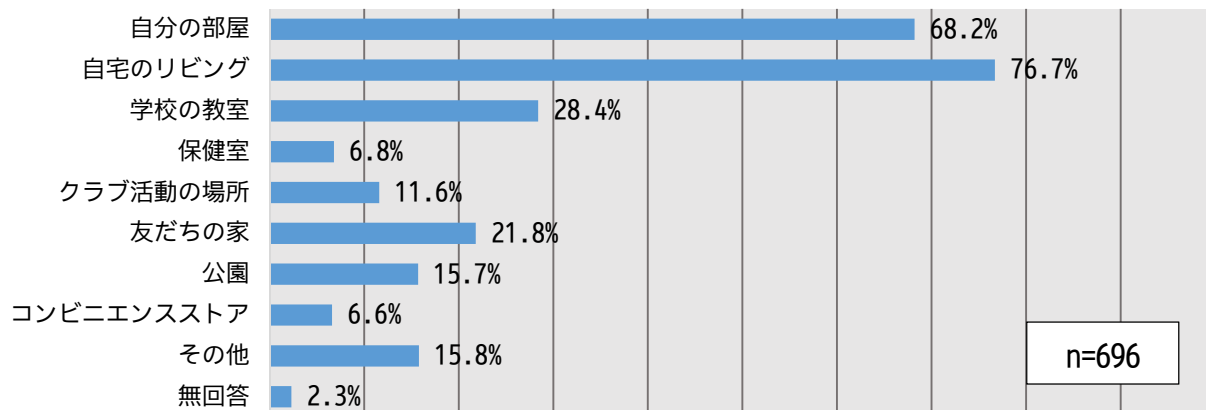


### 3 居場所について

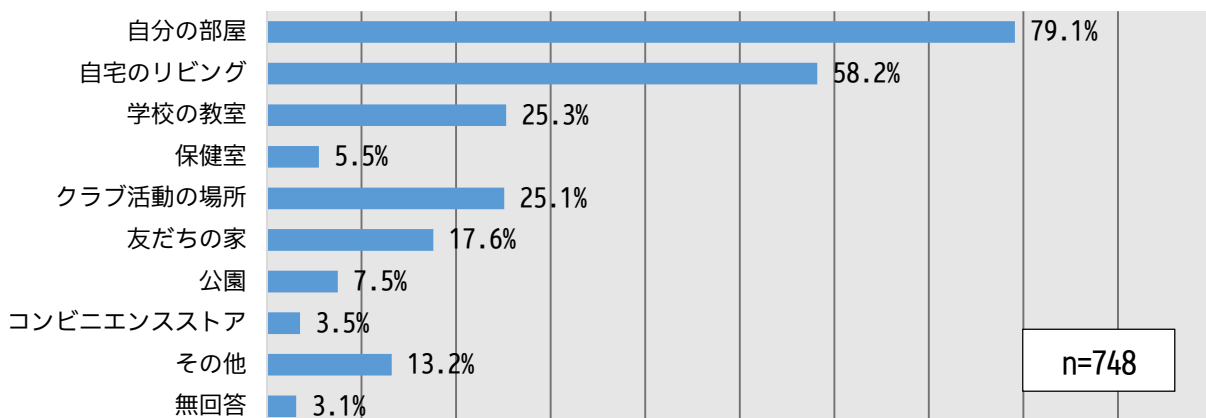
全ての年代で、「自分の部屋」と「自宅のリビング」と回答している割合が高く、中学生、高校生になると、リビングよりも自分の部屋の方が安心できると回答しています。

その他としましては、お風呂やトイレなど、一人になれる場所に安心を感じているようです。

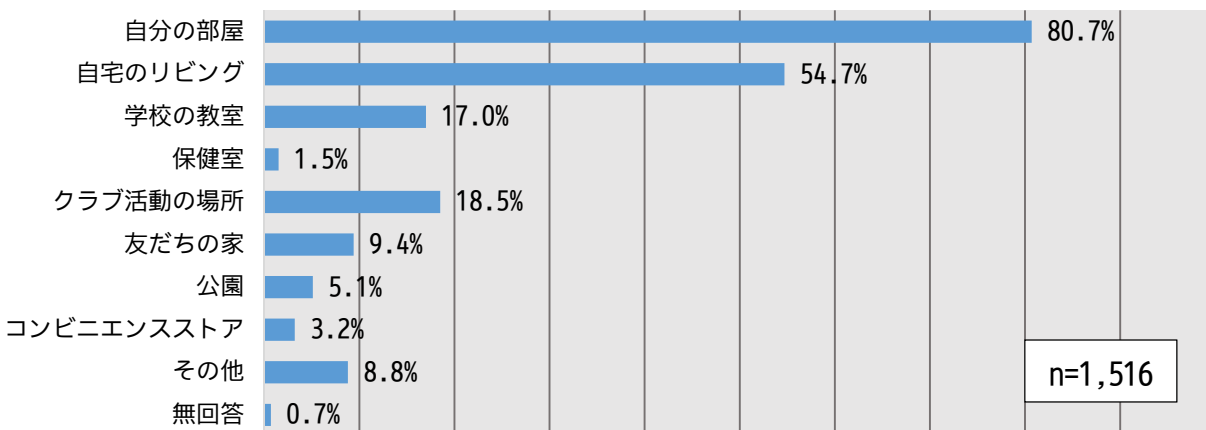
○安心できる場所はどこですか？（複数回答可）【小学生】



○安心できる場所はどこですか？（複数回答可）【中学生】



○安心できる場所はどこですか？（複数回答可）【高校生】

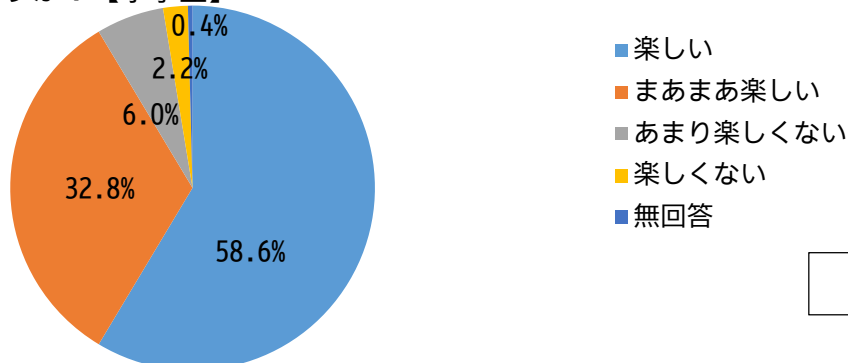


#### 【その他の意見（抜粋）】

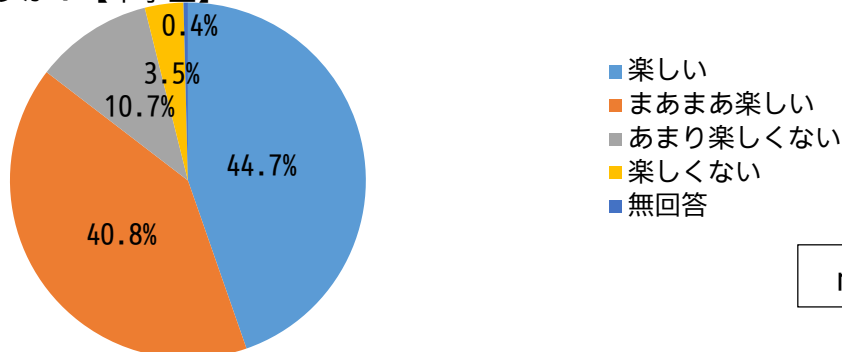
祖父母の家
お風呂、トイレ
塾、習い事の教室
だれもいない場所、一人になれる場所
本屋、雑貨屋

全ての年代で、学校が「楽しい」、「まあまあ楽しい」と回答している割合が8割以上と高く、その理由として、「先生や友だちといるのが楽しい」や「部活動や勉強ができる」といったものが多くありました。また、反対の理由として「勉強が苦手」や「先生に意見を押し付けられる」といったものや、少数ではありますが、「いじめられている」というものもありました。

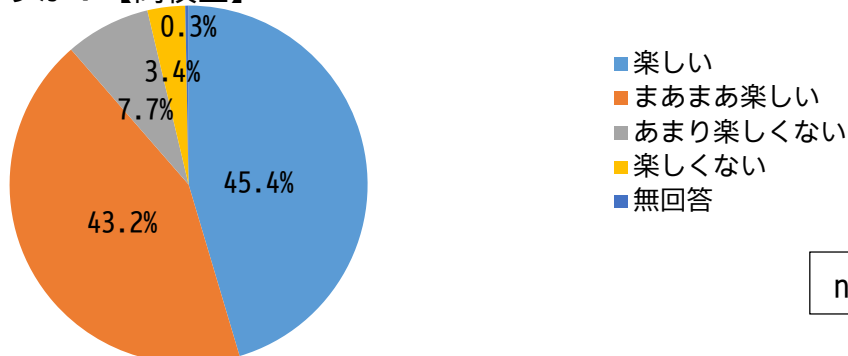
○学校は楽しいですか？【小学生】



○学校は楽しいですか？【中学生】



○学校は楽しいですか？【高校生】



○なぜそう思いますか？（抜粋）

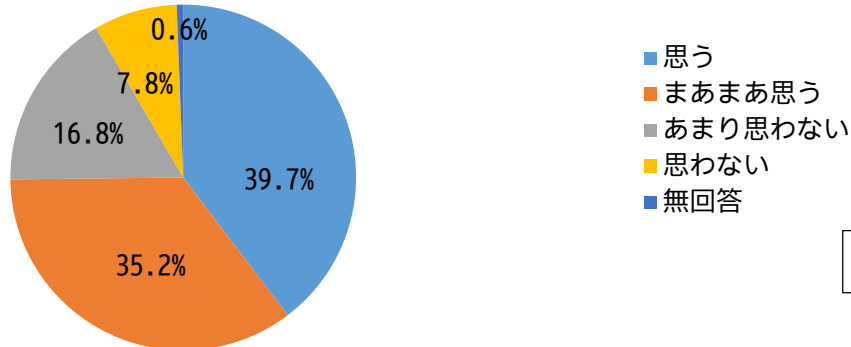
先生や友だちと話したり遊んだりするのが楽しいから
部活動が楽しいから
勉強ができるから
先生が面白い
自分が成長できるから
勉強が苦手だから
規律が息苦しいから
生徒に意見ばかり押し付けてくるから
差別してくる人がいる。一緒に遊んでくれない
いじめられている。先生がいないところで悪口を言われたりする

## 4 郡山市について

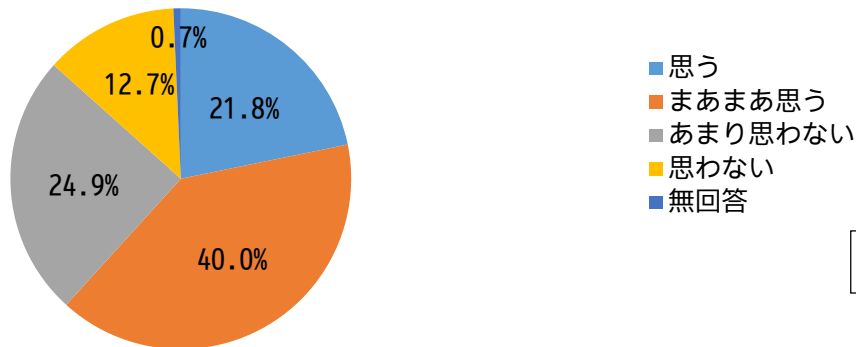
年代が上がるにつれて、郡山に住み続けたいと「思う」、「まあまあ思う」と回答している割合が減少しています。

その理由として、「都会に憧れている」や「遊ぶ場所が少ない」、「将来の選択が狭い」といったものが多くありました。

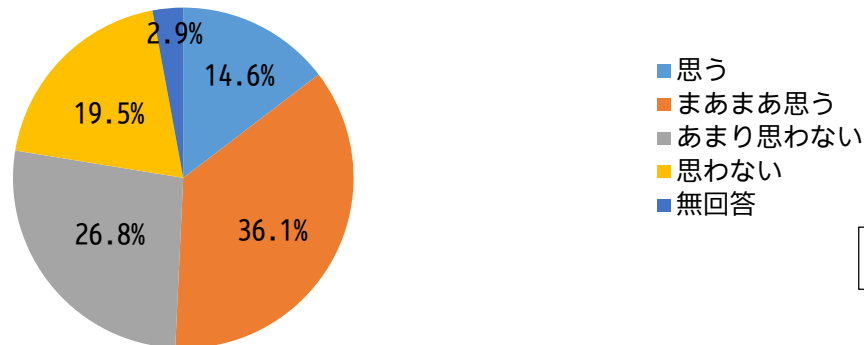
○大人になっても郡山市に住み続けたいと思いますか？【小学生】



○大人になっても郡山市に住み続けたいと思いますか？【中学生】



○大人になっても郡山市に住み続けたいと思いますか？【高校生】



○なぜそう思いますか？

父、母を自分が大人になっても支えたいから
今までいた場所だし安心できるから
自分が育った場所で仕事をしたい
心を許しあえる人がたくさんいるから郡山市が好き
自分の育った市でよく知っている場所だから
都会に憧れがあるから
遊ぶ場所が少ない
郡山は良いところだが、将来の選択が狭い
買い物をする場所、遊ぶ場所が少ないので、郡山よりも都会に住みたいから
自立して県外に行って経験を重ねたほうが良いから

## 5 子どもに関する条例について（高校生にのみ質問）

「自分が自立するためのルール」については様々な意見が寄せられましたが、一番多かった意見が「大人が自分たちの意見を聴いてくれる」でした。

このことから、子どもたちは、大人に自分たちの意見を聴いてもらいたい、自分たちの意見も尊重してほしいと感じている傾向が読み取れます。

また、一部には「自立は個人の意識の問題である」や「ルールよりも自覚が大事」といった、個人の自覚の問題とする意見もありました。

○自分が自立していくためには、どのようなルールがあれば良いと思いますか？

大人が自分たちの意見を聴いてくれる
相談にのってくれてアドバイスをしてくれる
社会的な役割を与えられ、将来のビジョンについて考える機会を設ける
将来の進路について相談できる
大人も子どもも互いに尊重しあう
子どもの意見が大人の意見に劣るということはないので平等に扱ってほしい
大人はあまり過保護にならない方がいい
コミュニケーション能力を高める授業や様々な職業の人と話す機会を設ける
大人と子どもが積極的に交流する機会を設ける
大人が自分の意見を子どもに押し付けない、縛り付けない
いじめの加害者に対して厳しい罰を与え、二度と再発しないようにする
子どもだけでも相談できるような窓口等を作りそれを広める
子ども同士が討論する場を設ける
広く学習のサポートをしてくれる
子どもの意見を気軽に反映させるような仕組みを作る
個人個人の特色を尊重してくれる
子どもたちだけで何かをする機会を設ける
悩みを相談できる場所を設ける
学年等にとらわれない学習の自由化
自立していく課程を学校で教える
経済的支援（高校の授業料無償化、奨学金制度の充実、公共施設使用料無料）
大人が体験したことや経験したことを教えてくれる
自立するのは個人の気持ち次第だと思うので、特に条例は必要ない考える
ルールよりも自覚が大事
条例で決められるような事は何も無い。放っておけば勝手に自立する

～施設への質問・回答～

○貴施設の児童・生徒について、良い点や気になる点など、普段感じていることを教えてください。

<p>子育てへの関心が高く、愛情をかけられ穏やかに育っているお子さんが多い。 共働きで忙しく生活しており、基本的な生活のリズムが乱れていると感じる。 気になる子どもが増えている。 また、年齢の割りに幼いように感じる。</p>
<p>食事面・衛生面で行き届いておらず、家庭の養育力が低下していると感じる。 親子の愛着が築けていないのか、情緒面で安定していない子どもが多い。 バランスよく発達していない「気になる子ども」が多い。</p>
<p>生活する上で便利な道具があるため、手先・指先の器用さ（箸、はさみの使い方）や体のバランスの悪い子がいる。 自主性があり自分の意見を話せるが、人の意見はなかなか受け入れられないこともある。 発達障がいまではいかないが、落ち着きのない子、待つことが苦手の子が増えている。</p>
<p>リズム感がよく、新しい音楽や踊りをすぐに覚えて踊ることができるが、個人の運動能力の差が大きい。 自分が話したい相手に対して、他の子が話し終わるのを待たずに話し始め、言い終わると満足する子どもが増えていると感じる時があり、コミュニケーションのとり方が気になる。</p>
<p>核家族化が普通になり、子どもが多くの人の良い点や悪い点を学ぶ機会が少なくなったことから、コミュニケーション不足を感じる。</p>
<p>核家族化・少子化の影響からか、のんびりと穏やかに育った子どもが多いように感じる。 競争心が弱く、保護者も競争させたがらない風潮もあり、競争心は弱いですが、他の子に負けたり、劣った様子が見えると怒る子どもが多く見られる。</p>
<p>子どもたちは素直で優しい。 地域住民同士のつながりが薄いためか、子どもたちは学校内では挨拶ができるが、外では不審者の心配もあり、知らない大人には関わらないことが多いのがさびしい。</p>
<p>素直で意欲的に取り組む子どもが多く、暴力等の問題行動は大きく減ったが、家庭環境の変化やスマートフォンの普及などの様々な事情で精神的に不安定になっている生徒が多いように感じる。</p>
<p>おおむね素直で落ち着いて生徒が多く、人を思いやるなどの優しい気質である。 外的な問題行動はあまり見られないが、自己肯定感が低い生徒が散見される傾向が見受けられ、集団への不適應などに対応する事案が近年増加しているように感じている。</p>
<p>素直で明るい子どもが多いが、内弁慶の傾向が見られる。 様々な特性を持った子どもが多くなってきて、個々への対応に苦慮することもある。</p>

○子どもの権利が守られることに関して、期待することは何ですか？

また、保育・教育現場において問題になりえることはありますか？

子どもが適切に養育され、愛され、保護される権利の保障を期待する。

現場では、子どもの最善の利益を考慮することを最重要としているが、子どもの権利が守られることは、家庭との連携が必要である。

また、最近の子どもに対しては、自己肯定感を養うことも必要である。

「保護の対象」から「権利の主体」になることによって、虐待・ネグレクト等から一人でも多くの子どもが救われることを期待する。

様々な家庭環境により複雑化する背景の中で、「社会に守られる＝管理される」ではなく、子ども一人ひとりが意欲的に自己表現することが見守られ、それを根本的に保障されるものであることを期待する。

また、幅広い対応が求められることから、関係機関との連携がより課題になる。

幼児教育が重要視されてくるようになってきたが、行政は各種保育・教育施設の目指す方向性が同じであることを指導し、小学校の基礎となる保育、教育のグランドデザインを構築することが喫緊の課題と考える。

子どもは親を選べない分、それぞれの環境に応じて成長していくが、その中で大人の都合により十分に学習が出来なかったり、不規則な生活習慣や食習慣により、成長に害を及ぼすことがあってはいけないことから、全ての子どもが平等に自分の将来を自由に考えられるような状況をつくってほしい。

まわりの大人が権利ばかり主張してきちんと義務を果たしてくれるかが心配。

子どもを守るためには親の教育も大切であり、親に手を差し伸べられるところが多くあれば良い。

本園では、一人ひとりの児童を温かく見守り等しく教育が受けられる環境整備に力を注いでいるので、家庭環境など実態をしっかりと把握できるように努めていきたい。

学校全体が一人ひとりの子どもに関わっていかねばならないという意識付けのきっかけになることは期待できるが、家庭での諸問題に起因すると思われる子どもの問題行動について、どこまで介入できるのか、また、すべきなのかが不明確なのが課題である。

子どもの権利が守られることにより、自分の意見を発言しやすくなることから、社会の諸問題に対して主体的に考えるようになることを期待する。

○児童虐待の早期発見・未然防止を図るために、どのような取組みをなさっていますか？  
また、どのような取組みが必要だと思えますか？

<p>子どもと親の様子を良く観察し、必要な時には声を掛け傾聴している。 特に気になる子どもがいれば、発育測定や衛生検査等でチェックしている。 朝の視診の徹底とマニュアル作りが必要である。</p>
<p>朝夕の視診で外傷等を確認し、子どもの様子や話の内容から家庭環境の変化について観察しており、問題確認できた場合は、各関係機関へ情報提供し今後の方針を決めている。 過去の相談履歴が後になってわかることもあるので、関係機関が把握している情報を、速やかに共有することが必要。</p>
<p>毎朝、登所時に、傷等の有無を注意して視診している。 また、オムツ替えや着替え、発育測定時に身体の様子や体重の増減等に注意しながら観察をしており、持ち物や衣服、身体状況などから虐待等の早期発見に努めている。 併せて、無断欠席の児童へは保育所から電話連絡をしている。</p>
<p>気になること、気づいたことは記録に残している。 保護者とコミュニケーションを密にとり情報を得ることが重要で、そのためには施設と保護者の間に信頼関係を築くことが必要である。 また、地域からの情報提供や連携も必要である。</p>
<p>登園時の子どもたちの顔の視診だけでなく、ボディチェックを行っている。 保護者の様子や子どもの対応などに今までと違うようなことはないか、悩み事があるような時はさりげなく声を掛けて話しやすくしている。</p>
<p>子どもの様子（身体・行動・言動）の変化に気づき、ほんのわずかでも疑わしいことがあれば、関係機関へ速やかに相談・通告することが必要。</p>
<p>子どもを日常的に観察しており、集金や給食費の遅れ等、何か困っていることがないかを、それとなく尋ねている。 親が心にゆとりを持って子育てができる社会の仕組みを作ることが必要である。</p>
<p>早期発見には、毎日子どもを見ている保育士が、変化に気が付いたらすぐに上司に報告をし、施設の中での対応ができない場合は、児童相談所への連絡を入れるなどの防止策が必要である。</p>
<p>日頃から子どもの健康状態や言動、体のあざ等で気になることがあったら、管理職に報告、相談するとともに支援センターや児童相談所とも連携を図るようにしている。</p>
<p>教育相談体制がおおむね系統化されており、養護教諭やスクールカウンセラーを交えたチームとして生徒個人を支援するという意識を教員としても共有している。 今後は、高等学校でも利用可能な市町村でのスクールソーシャルワーカーの配置などがあれば、更にきめ細やかな対応につながるのではないかと考えている。</p>

○いじめの早期発見・未然防止を図るために、どのような取組みをなさっていますか？  
また、どのような取組みが必要だと思えますか？

子どもたちの活動の様子をよく見聞きし、状況を把握している。  
また、保護者とのコミュニケーションを大切にし、子どもの様子を感じ取れるようにしており、保育者として心の成長ができるような関わりを常に心掛けている。

一緒に活動を見守り、会話に耳を傾け、声かけ活動や手助けと共に、仲間に入れない子へのさりげない声かけを促している。  
固定観念や差別を感じさせない対応やパーソナリティ教育が必要。

0歳児は、保育士が愛情豊かに関わり、強い信頼関係を築くことが必要である。  
また、子ども自身が考え、気持ちに気づけるような保育教材を与えることも必要である。  
保育士が子ども・保護者に平等にかかわることも必要。

常に園児一人ひとりを大切に作る心を持って、どの子にも平等に優しく、温かい思いやりの言葉をかけている。  
一人ひとりがどこにいても居場所があることが必要である。

子ども同士の関わりや言動について常に観察・把握している。  
トラブルなどがあれば双方の子ども意見を聞いた上で解決を図り、また、双方の保護者に具体的な内容を伝えることで誤解が生じないように努めている。

年に数回、生徒指導アンケートを行い、聞き取り調査を行っている。  
過剰な競争心を持たせるのではなく、自分との戦いであることを意識させる。  
読み聞かせ等で心に残る話を聞かせ、感受性を養う。

「いじめはいけないこと」をしっかりと指導している。  
さらに、友人とのトラブルなどコミュニケーション能力の育成を図りながら解決できるようにしている。  
また、アンケート調査など、定期的に振り返る時間も設定している。

定期的な「悩みごと困りごとアンケート」を実施し、早期発見に努めている。  
学校のいじめ防止基本方針を周知徹底させ、いじめが発見されたときに組織として対応できるように報告、連絡、相談を密にしていけることが必要である。

本校では数年前より外部検査（QUテスト）を全学年で利用しており、スクールカウンセラーや係によるスーパーヴァイズ、各学年の指導に関わる教員による拡大学年会議、養護教諭の決め細やかな相談体制など、生徒個人を多角的かつ客観的に捉える機会を多く作ることに配慮している。

学校生活アンケートを年2回、クラス担任による面談を年2回以上実施している。  
気になる生徒については、教員間で情報共有するための会議を持ち、学校いじめ防止基本方針を保護者に配布するとともに、ホームページにも掲載し保護者と連携している。  
また、いじめ対策委員会を年3回開催し、いじめ問題について協議している。



○子どもたちが健やかに成長し、自立できる社会を実現するためには家庭や地域との連携が不可欠ですが、必要な連携や支援はどのようなものですか？  
また、連携する際の問題点などはありますか？

<p>子どもを取り巻く環境が良好とは言えない状況もあるので、関係機関との連携は大切である。</p> <p>また、保護者の事情で色々な所から子どもが通所しているので、子どもが実際に住んでいる地域からの情報は得にくい。</p>
<p>子育てに関する不安や負担を感じさせないよう、日々の声かけや支援が必要である。</p> <p>子どもを見守る社会となるため、関連する情報を地域に発信し、関心を持ってもらうことが大切である。</p>
<p>家庭の問題には介入しにくい部分があるので、なかなか施設から情報発信できない。</p> <p>保護者側から悩みや困り事に関する相談があった際、速やかに行政機関に案内できるように連携できればありがたい。</p>
<p>地域との連携に関しては模索中であるが、中学校、高等学校が近くにあることから何らかの形で関わっていきたいと考えている。</p> <p>また、散歩等で地域の方と積極的に挨拶を交わすことで施設の存在を知っていただき、子どもたちへの理解をいただけるようにしている。</p>
<p>子ども一人ひとりの持ち味が活かされるような環境であり、兄弟姉妹等の立場も考慮しながら、最後まであきらめないで努力することの大切さを身につけさせたいと考えている。</p> <p>また、父母と先生の会や地域公民館、さらには地域の各施設等と話し合い、交流を今まで以上に進められるようにしたい。</p>
<p>家庭や地域から何かアクションがあれば、それが機会となりこちらから発信する事も可能だが、積極的にこちらから関わっていく事は難しい。</p> <p>多くの関わりが持てるような機会を多く作ってもらえると、施設の様子も伝えられ、家庭や地域との連携が深まる。</p>
<p>学校と家庭、地域が連携する必要があるが、学校保健委員会を地域で実施し、各団体が取り組むべきことなどを話し合っているが、最終的には家庭が一番大切なので、親への指導及びPTA等での連携を図ることが大切である。</p>
<p>特に経済面、社会福祉面の支援が必要である。</p> <p>具体的には民生児童委員や特別支援に係る福祉関係の連携が不可欠であり、家庭や地域と連携する際には、学校の教育活動や教育課程の仕組みを公開し、理解を得て行事を調整したり、相互の協力を求めたりしなければならないところが問題となる。</p>
<p>安全で安心して過ごせる地域づくりに、関係機関と協力して取り組んでいる。</p> <p>保護者の意識や家庭の経済的状況が連携を難しくする場合がある。</p>
<p>学校行事の地域開放（現在でも学校開放デーとして授業を公開するなどの対応がある。）や、教育活動における小中高校の連携授業（授業研修や部活動など）が必要である。</p> <p>不特定多数のプライバシーにどこまで介入した連携ができるのかが課題である。</p>

○これからの社会を生きる子どもたちに求められているものは何だと思いますか？

<p>自己肯定感と、自分ばかりではなく、他の人を思う気持ちを持つことができる協調性と自立の心。 社会との関わりを持つこへの意識とあいさつ。 最後まであきらめずに頑張る事。</p>
<p>自己肯定感を育て、他の人を大切にする思いやりの心。 社会生活上の決まりを守り、他の人との関わりを大切にする中で、主体的に生きる力。 大人に見守られながら、社会的自立に向けて学び、考え行動する力。</p>
<p>様々な情報に流される事なく、自分の力で考え、話し、行動する力。 また、大人も子どもが健全に育つために、モラルをきちんと持つことが重要である。</p>
<p>自分の思いを進んで行動にできる力。 充実した保育環境の中でしっかりと遊びを楽しみ、経験することで、やがて人との結びつきや社会性、交友性が形成されることにつながると思う。</p>
<p>自ら切り開き、たくましく生きる力。 色々な経験をして豊かな感情を持ち、一人ひとり違った考えや感情があることを理解する力。 孤立せず、家族、友だち、地域社会とコミュニケーションをとれる力。</p>
<p>多様な価値観を認め合う「共感性」や「想像力」。 それを育むための経験や知識。</p>
<p>実践できる知識と知識を習得するためのスキルを身につけること。 思考力、判断力、表現力と創造性を養うこと。 行動に移す力と社会の中で生きるスキルを身につけること。</p>
<p>自ら課題を発見し、自ら考えて生き抜いていける力。 自己の尊厳や肯定感と、他者を理解し共感する力。</p>
<p>多様な価値観の中から、必要な情報を集め、まとめて最良の答えを見つけ出す力。</p>
<p>生活の中で生じてくる問題点を自力または他と協力しながら解決・対応し、たくましく生き抜いていく力が必要。 問題が生じないように、負荷がかかりにくい、困難を避けた環境を周囲の大人が整えてしまう傾向（整えざるを得ない傾向）が強まっていることを心配している。</p>

○条例全般についての御意見

<p>子育て支援は、子育てしやすい環境を整えることであり、保護者が子育てについて「誇り」、「喜び」を感じることができると社会を築けるよう希望する。</p> <p>子どもが一人ひとり大切にされ、しつけや育ちが道徳心を備え、愛されて生きられる条例でなければならない。</p>
<p>子どもには保護される権利と思いや願いを実現し育つ権利があり、ゆっくりと育つ子どもを保護者、社会が見守っていければと思う。</p> <p>また、保護者が育成について第一義的責任を負うとなっており、その意味を保護者自身がしっかりと理解し、責任を果たせる社会を築けるものにしてほしい。</p>
<p>「ゆとり」を作ったときのように、デメリットが多くなってしまふことも考えられるので、十分に配慮して条例を作してほしい。</p>
<p>子どもたちが話し合い、その意見がきちんと行政に反映されることが大切である。</p> <p>子育ては親の責任だけではなく、郡山市の子どもとして社会や市が責任をもって育てるといった姿勢を示してほしい。</p>
<p>条例が、大人の為のものではなく本当に子どもの為、子どもを一番に考えた中身のある内容であって欲しい。</p>
<p>虐待やいじめのニュースが報道されるたび心が痛くなる。</p> <p>こうなるまでに誰かが手を貸せなかったものかと思うことから、条例で少しでも子どもたちを良い方向へ導き、つらい子ども時代を過ごす子がいなくなることを願う。</p>
<p>子ども条例は大変重要であると考えているが、先行して制定し失敗した他市の話も耳にすることから、しっかりと調査・研究した上で制定の準備を進めてほしい。</p>
<p>子どもたちが「保護の対象」から「権利の主体」となったことを一般の方に分かりやすく伝えることができる条例だとよい。</p>
<p>子どもたちのために具体的に生きて働くものであってほしい。</p>
<p>小学校から高校における、郡山市民としての児童・生徒がより利用しやすくなるよう公立施設の減免措置等も含め、児童・生徒の活躍を後押しできるような画期的な条例の制定を心より期待する。</p>